

# 高知県・鳥取県・徳島県の犯罪発生状況

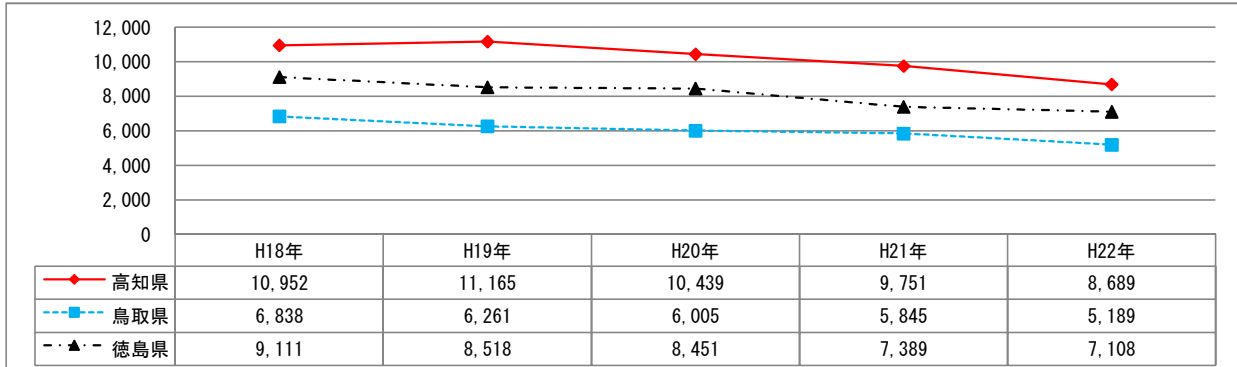
高知県安全安心まちづくり検討会

平成24年2月21日

## 1 刑法犯認知(発生)件数

### (1) 過去5年間の推移

最も人口の少ない鳥取県は、平成15年に戦後最高となる9,302件以降、7年連続で減少、また四国で高知県とほぼ同じ人口の徳島県では、平成15年の12,369件をピークに減少し、平成22年には7,000件を下回っている。一方、高知県は、平成20年まで1万件超えで推移していたが、平成21年に1万件を下回り、平成22年には8,000件台まで減少しています。



### (2) 各県の人口の推移

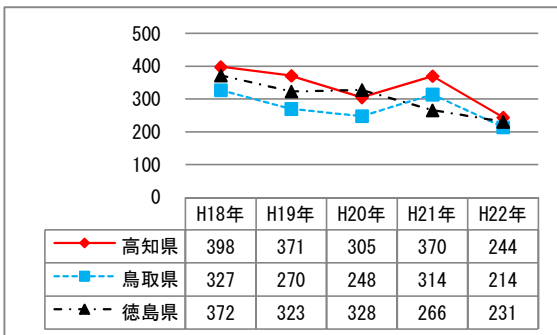
	人口(千人)			世帯数(千世帯)	
	平成12年	平成17年	平成22年	平成17年	平成22年
高知県	814	796	764	323	321
鳥取県	613	607	589	209	211
徳島県	824	810	785	298	302

## 2 主な手口別発生状況

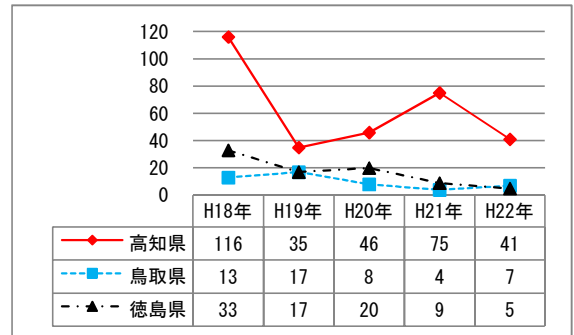
刑法犯に占める割合の高い犯罪は、窃盗犯で、全国では、平均75.6%を占めており、刑法犯の発生が最も少ない鳥取県でも窃盗犯が71.5%を占め、四国内では徳島県が72.3%であった。

一方、高知県では、刑法犯に占める窃盗犯の割合が77.8%で、全国平均を上回っている。鳥取県及び徳島県と比べて、住宅対象の侵入盗は3県とも同程度であるが、ひったくり、オートバイ盗、自転車盗の発生が鳥取県や徳島県より多発している傾向にある。

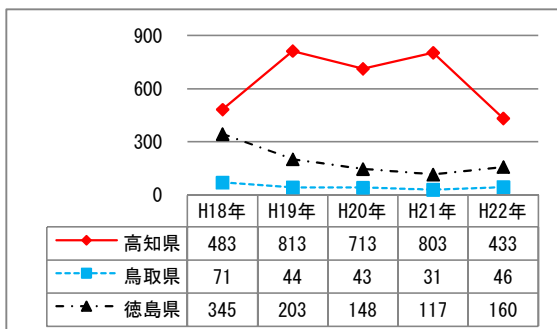
### (1) 侵入盗(住宅対象)の発生状況



### (2) ひったくりの発生状況



### (3) オートバイ盗の発生状況



### (4) 自転車盗の発生状況

